

専門学校、NPO法人等と横浜市がスクラムを組んで「ニート」の自立を支援！

ニート状態にある若者に向けて横浜独自の就労支援プログラムを展開します

横浜市では、現在、市内の企業、NPO法人、学校教育機関等、多様な主体の連携により、青少年の自立支援に取り組むためのネットワークの構築を進めています。

今回、この一環として、専門学校（学校法人岩崎学園）を中心に、市内で活動する5つのNPO法人等と本市が協働することにより、ニート状態にある若者のニーズや生活実態を踏まえた、横浜独自の就労支援プログラムを実施します。

事業の背景・特徴

■従来、ニート状態にある若者の就労支援には、こんな課題がありました。

- 本人の就労に対するモチベーションが低かったり、職業へのイメージが漠然としているため、ハローワークなどでもなかなか適した仕事を紹介できない。
- 他者とのコミュニケーションが苦手など、精神面での課題を抱えている若者が多いため、求職活動に自信が持てず、採用面接などでも失敗することが多い。

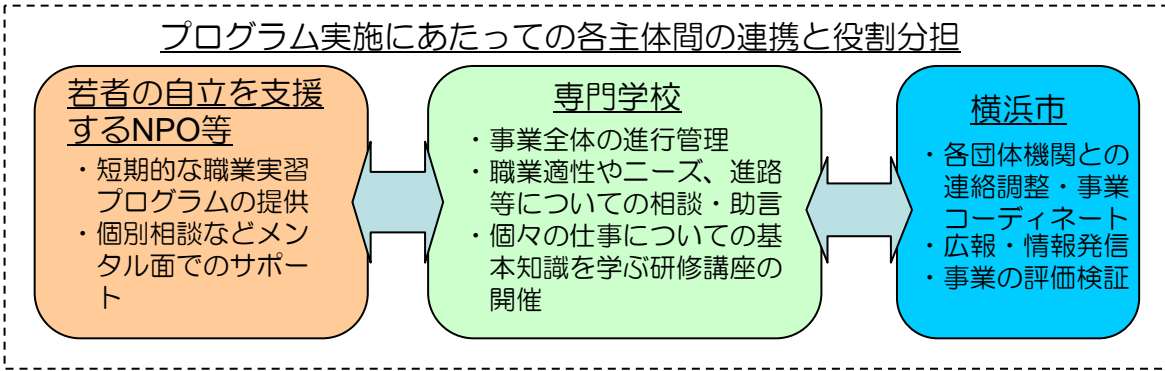


□今回の就労支援プログラムには、こんな特徴があります。

- ①個別相談やカウンセリング、基本的な職業知識・心構え等を学ぶ講座、短期の職業実習といった一連のプログラムを通して、若者本人の就労意欲を効果的に高めていく。
- ②専門学校の幅広い学習メニューや訓練ノウハウの蓄積を生かして、個々の若者の職業適性を明確化しながら、就業に必要なスキルを確実に身に付けさせる。
- ③ニートの若者たちと日常的に接し、支援を行っているNPO法人等と連携して職業実習を進めることにより、実践的なコミュニケーション能力を磨くとともに、個々の若者のニーズや気持ちに寄りそった、きめ細かいサポートを行っていく。



以後、本格的な職業訓練や職業紹介等につなげ、就労支援の実効性を高めます。



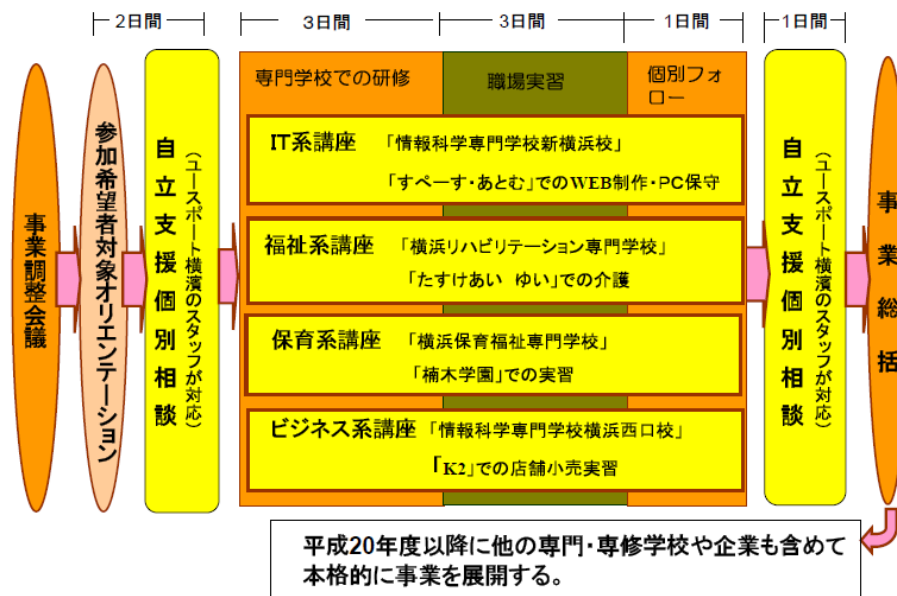
本格的な職業訓練・職業紹介など
就労支援プログラムの展開

※この就労支援プログラムは、文部科学省の「平成19年度 専修学校を活用した再チャレンジ支援推進事業」を岩崎学園が受託する形で実施するものであり、横浜市は、岩崎学園と協定書を締結し、事業を協働で推進します。なお、事業に係る経費はすべて国費で賄い、参加者の受講料は、原則として無料とします。

事業の概要

市内のニート状態にある若者を公募し、個々のニーズや適性に応じて、IT系・福祉系・保育系・ビジネス系の4つのコースに分け、専門学校での研修の後、それぞれの分野のNPO法人の活動現場で、実際に職業体験をしてもらいます。その後、個別相談・アドバイスを経て、受講者の就業や資格取得、より長期の職業訓練等への参加に結び付けていきます。

こうした流れに沿い、年度内に合計100人程度を対象として、2クール(1クール標準約10日間)のメニューを実施し、成果の検証を踏まえて、来年度以降、本格的な職業訓練プログラムを展開します。



役割分担	団体
事業全体の進行管理 研修講座の実施	学校法人 岩崎学園 情報科学専門学校新横浜校・横浜西口校 横浜リハビリテーション専門学校 横浜保育福祉専門学校
職業実習の実施	スペース・あとむ(パソコンの保守点検等を通じて若年無業者の就労支援を行っているNPO) たすけあい ゆい(地域ケアプラザ等を運営する社会福祉法人) 楠の木学園(発達障害者や不登校児のフリースクールを展開するNPO) K2インターナショナルジャパン(若者自立塾や若者による商業店舗を運営する団体)
個別相談アドバイス	ユースポート横濱(よこはま若者サポートステーション等を運営するNPO)
事業調整・広報・評価検証	横浜市こども青少年局

対象者及び募集について

横浜市内に居住する概ね15歳～34歳までのニート状態にある若者。横浜市の広報媒体や新聞広告等によって受講者を広く募ります。なお募集についての問い合わせ及び応募は下記まで。

岩崎学園経営企画部内 ニート就労支援プログラム担当

電話：(045) 311-5581 FAX：(045) 311-8109

メール：seminar2@iwasaki.ac.jp

スケジュール

- 1月10日～ 第1回プログラムの受講者の募集告知
- 1月23日～30日 第1回参加希望者へのオリエンテーション、参加者受付
- 12月初旬～下旬 第1回個別相談、講座の実施
- 1月中旬～下旬 第1回プログラムの結果検証、第2回の受講者の募集開始
- 2月上旬～下旬 第2回参加希望者へのオリエンテーション、個別相談、講座の実施
- 3月下旬 事業成果を総括し、来年度へとつなげるためのシンポジウムの開催